

1部：

信仰生活のターニングポイント (ルカ 14:25-35) □

人間の本当の問題(根本)を知らないと人々は問題解決のためにもがき、幸せを手に入れようと頑張り、その為に宗教を求めて偶像を拝み、占いなどに走るが、結局は疲れて重荷を負い倒れるが、人間の根本を知れば…

1. 人間とこの世の限界を認める。

- 1) 最善、良い行い、悩み、努力
- 2) 必要なこと
- 3) 大事なもの
- 4) 大事な人たち
- 5) イスラエルにある良い祝福

2. キリストの絶対価値を告白する。

- 1) 創世記 3:15
- 2) 出エジプト 3:18
- 3) イザヤ 7:14
- 4) マタイ 16:16-使徒 4:12
- 5) ピリピ 3:5-8
- 6) 塩気をなくした塩(34-35)

キリストの絶対価値に目覚めて、キリストの絶対価値をベースに計算をして、キリストより大事にしているもの、キリスト以外に頼るものなどを捨てよう！それで、キリスト中心に人生

の過去、現在、未来を編集しよう！それから、マタイ 6:33、使徒 1:8 の契約を握って祈ろう！

2部：

RT 教会のターニングポイント (マタイ 28:18-20)

教会が聖書に流れている福音の流れが流れで来て、その流れに乗っているのかを確認することで、教会を大事にして、教会にオールインして、教会と共に導かれることになる。

1. イエス キリストの命令

- 1) あなた方は-信者(使者化)
- 2) 行って-教会と現場(現場化)
- 3) 弟子とし-神様の備え(弟子化)
- 4) バプテスマを受け-キリストの体(教会化)
- 5) 教える-訓練(再生産)

2. 初代教会へ流れ

- 1) 120名の信者
 - 2) マルコのタラッパン(使徒 1:13-14)
 - 3) 3千人の弟子(使徒 2:41)
 - 4) バプテスマを受け(使徒 2:41)
 - 5) 使徒たちの教え、交わり、パンを裂き、祈り(使徒 2:42)
3. アンテオケ教会とパウロへ流れ
- 1) 私たちは-パウロチーム(使徒 16:11)

2) ピリピ(16:12)

3) リディア(16:14)

4) バプテスマを受け(16:15、33)

5) ピリピ人への手紙(ピリピ教会)

4. この流れが途絶えて-教会史

1) ローマ・カトリック、

2) 宗教改革、覚醒運動、教会成長論

3) 日本の教会史

4) タラッパン伝道

5. タラッパン伝道へ流れ

1) キリストと 5 基礎-使者化

2) キャンプ-現場化

3) 伝道者の生活(3 今日)-弟子化

4) 集中時代(8 ミッション)-教会化

5) 237、5000(やぐら、旅程、道しるべ)-再生産

まだ未熟だけど、この聖書的流れは RT 教会に流れで来てることを確認し、アイデンティティーを明確にして感謝し自負しよう！

いかなることがあっても、この流れから離れる理由にはなれないことを肝に銘じて、自分にこの流れが流れ、日本の教会に、5 千種族に流れることを祈ろう！

1部-ルカ 14:25-35 信仰生活のターニングポイント

なるほど/人間の本当の問題(根本)を知ると、人間と世の限界を認め、キリストの絶対価値を告白して自由になる。

ならば/キリストの絶対価値に目覚めて、それを元に靈的計算をし、捨てるべきものを捨て、キリスト中心に人生を編集しよう！

2部-マタイ 28:18-20 RT 教会のターニングポイント

なるほど/復活のイエス様が教えた福音と伝道は初代教会とアンテオケ教会に流れ、しかしローマカトリックの時からその流れは途絶えて、神様はタラッパン伝道を通してその流れを回復されたことを確認して、実際に教会と個人がその流れに乗ることが求められる。

ならば/RT 教会にその聖書的福音と伝道の流れが来ていることを確認して、それが自分に流れ、日本の教会に、5 千種族に流れることをミッションにして祈ろう！